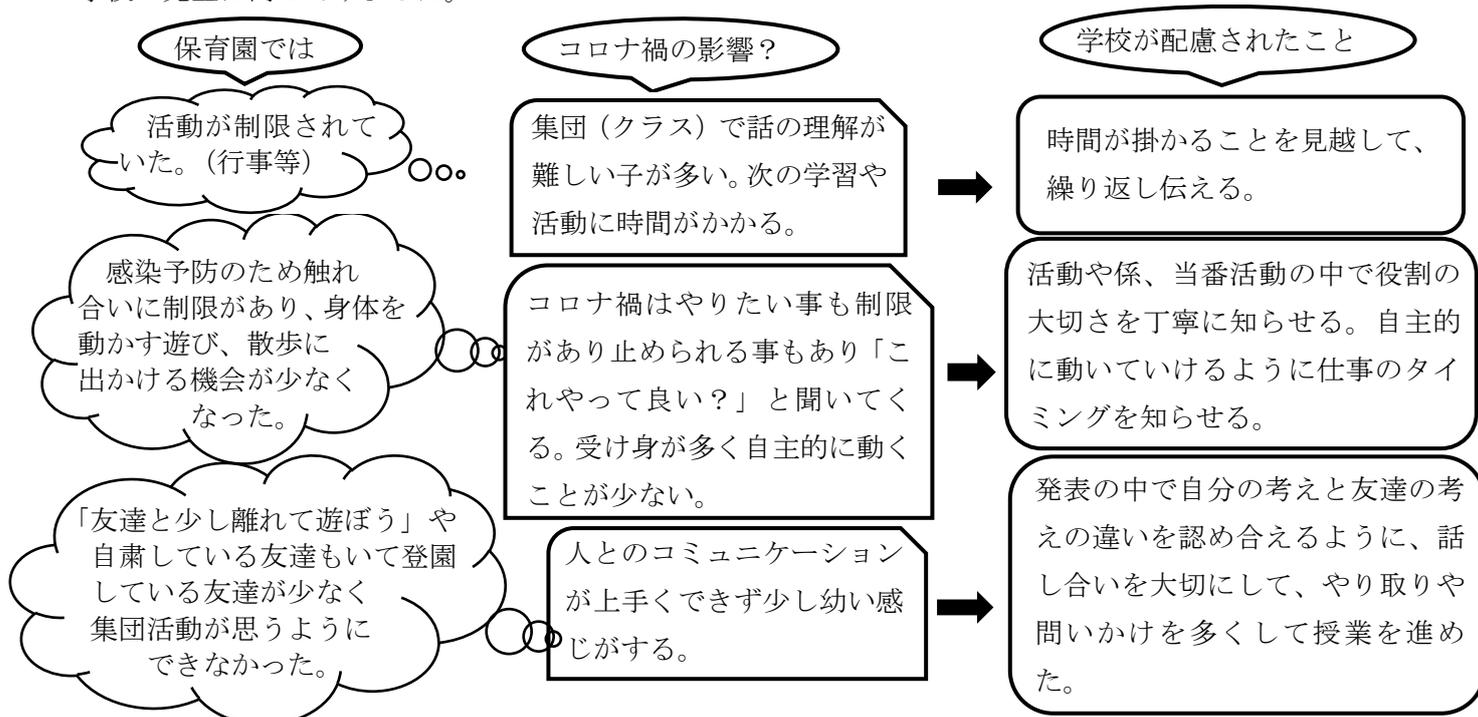


*コミュニケーションを経験していく3、4、5歳の3年間で、緊急事態宣言下で過ごした子どもたちが今年1年生になっています。そんな時期を過ごした子どもたちに変った様子はないか、どんな配慮をされたのかを学校の先生に伺ってみました。



保育園、幼稚園の先生方も感染予防のため、活動を制限されることが多く、できないもどかしさを感じていたと思います。1年生になり楽しそうに過ごしている様子を見て救われる気がします。そして、友達との関係もしっかり築かれ2年生に向かっていく姿が見られます。

☆保幼小連携・交流推進活動について・・・保幼小交流活動が復活☆

保育園、幼稚園、小学校の交流活動は、新型コロナ感染症の流行により約4年間にわたって大きな影響を受けてきました。子どもたちが直接交流する機会は減少し、多くの幼児教育関連施設と小学校の連携体制も失われてしまいました。

令和5年度は、保幼小連携交流活動を少しずつ再始動していく1年となったのではないのでしょうか。各地域でも、それぞれ熱心に取り組まれていると思います。幼児教育センターが協力させていただいた、いくつかの活動をお知らせします。

【公開授業への地域保育者の参加】

各小学校で行われる公開授業に地域の保育園、幼稚園の保育者をお招きしました。

・おなづか小学校(6月17日) ・南六郷小学校(9月9日) ・道塚小学校(9月20日)

【小学校と地域との連携体制の構築】

幼児教育センターが支援活動を行っている学校、以前行っていた学校と保育サービス課の協力を得て地域の保育園、幼稚園との連携交流活動を行いました。

- ・東調布第一小学校 地域保育者による授業参観及び教員との協議会(10月3日)
- ・嶺町小学校 地域保育者による授業参観及び教員との協議会(9月28日)
- 保育園、幼稚園5歳児クラスによる運動会の見学(11月10日)

年度末には各小学校を中心とした交流会なども企画されています。

保幼小連携交流活動についての情報や支援依頼については、幼児教育センターにお問い合わせください。